

荒川先生に聞く! コロナ対策 2

～普段の生活で気をつける3つのポイント～

1. 消毒方法を再確認しましょう。

70%程度のアルコールが使いやすいですが、ちょっとお高いですね。そんな時は、(次亜塩素酸水ではなく)次亜塩素酸ナトリウム液を使いましょう。アルコールよりも色々な病原体に効果があります!

おすすめは、水1リットル:家庭用塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムのもの)キャップ1杯です。

その後は、水拭きで拭き上げてくださいね!

2. こごぞというときは、サージカルマスクを使用しましょう。

多くの人と出会う場所へのお出かけや、たくさんお話される方は布マスクやウレタンマスクより、サージカルマスクを利用してください!

3. 扇風機やサーキュレーターを活用して、こまめな換気を心がけましょう。

車などは、外気循環モードがおすすめです!



*感染対策を続けることは、ちょっと疲れますよね。お互いに声をかけあって、いざわりあって、感謝し合ひましょう。マスクつきでも、あなたのすてきな笑顔が見たいです!



中学生が緋美術館を見学

令和2年10月14日(水)、倉吉市立河北中学校2年生の5名が、本学の緋美術館を訪れました。

中学校の総合的な学習「わが町探訪」の一環で、自分の住んでいるふるさとのことを調べようという目的です。中学生たちは、緋の歴史や用途、緋ができるまでの工程を聞き、展示されているたくさんの緋作品を見学しました。また、実際に織織り機に触れ、織り方の説明も受けました。学習の成果は「緋美新聞」としてまとめられています。

鳥取短期大学緋研究室 令和3年度研究生募集

鳥取短期大学緋研究室では、伝統工芸「倉吉緋」の技術を習得する社会人向けの養成講座を開設しており、令和3年度研究生を募集しています。

募集期間: 令和3年3月1日(月)～3月31日(水)

※必着

定員: 10名程度

開講期間: 令和3年4月から1年間

毎週火・木曜日 9:30～16:30

緋研究室 修了作品展のおさそい

令和2年度緋研究室修了生の作品展を開催します。

期間: 令和3年3月26日(金)～3月28日(日)

10:00～17:00

会場: 倉吉博物館(倉吉市仲ノ町3445-8)

入場料: 無料

※修了作品展以外の常設展示を観覧する

場合は、別途入館料が必要です。

展示品: 着物、袋物、テーブルセンターなど

グローバルセンターをご利用下さい

鳥取看護大学・鳥取短期大学では、個人・団体による大学見学会、講演会講師の依頼、大学の施設利用や教員の専門分野に関するご相談などに随時対応しています。

詳しくはグローバルセンターまでお問い合わせ下さい。

<発行> 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL:0858-27-0107 FAX:0858-26-9138 E-mail:glocal@cygnus.ac.jp

<印刷> 有限会社 矢積印刷 倉吉市宮川町2-36



鳥取看護大学 グローバルセンターだより 鳥取短期大学 Glocal Center

第8号 2021.3.10発行

地域とともに50年 さらになるステップへ!



「のうこう市場」を開催



令和2年12月2日(水)、鳥取県立倉吉農業高等学校の食品科3年生流通コース販売チームの9名が来学され、課題研究「地域に根ざした販売実習」のテーマのもと、本学ピロティにて「のうこう市場」を開催しました。当日は、倉吉農業高等学校で生産されているお米や野菜、加工品やお花などたくさんの商品を、教職員をはじめ学生も購入させていただきました。「のうこう市場」後には、大学のいたるところに農高産のシクラメンやポインセチアを飾らせていただき、大学内がとても賑やかとなっています。来学の際は、ぜひ探してみてください!

鳥取県と「観光人材の育成に向けた寄付講座の設置に係る協定」を締結

令和2年12月23日(水)、鳥取県と鳥取短期大学は「観光人材の育成に向けた寄付講座の設置に係る協定」を締結しました。

この協定の締結により、令和3年度より国際文化交流学科に「地域と観光Ⅰ」、「地域と観光Ⅱ」という科目が新設され、鳥取県の重要な産業である観光分野で活躍する人材の育成に寄与することとなりました。また、これらの学びは「履修証明プログラム」という形で地域の方にも開講します。観光の世界も新型コロナウイルスの影響で転換期を迎えています。そんな今にふさわしい学びを提供していきたいと思えます。



ToCoToN FAST 今年も! 鳥取看護大学・鳥取短期大学から防災士が誕生!!



「とっとりプラットフォーム5+α」では、学生の防災士養成に取り組んでおりますが、今年も両大学から17名の防災士が誕生しました。そこで、令和3年2月17日(水)米子市防災安全課坂本航主任を講師に迎え、消防防災サークル ToCoToN FAST 主催の防災研修会を開催しました。ToCoToN FASTのメンバーのほか、両大学の防災士資格を取得した学生、防災に興味を持つ学生たち12人が参加し、防災に関するクイズや非常食の試食なども交え、本学が位置する倉吉市のハザードマップを見ながら、日頃より危機意識を持つことや自分の身は自分で守る「自助」の重要性なども再確認しました。「鳥取県中部地震」から5年が経ちますが、これからも若い力を地域の防災に役立てていけるよう活動を続けます!

鳥取県生協連合会様より学生にお米などのご支援をいただきました

令和2年12月18日(金)、長引くコロナ禍でもがんばる学生を応援しようと、鳥取県生協連合会様より「星空舞2キロ」(JA鳥取中央会)、レトルト食品、缶詰等(鳥取県生活協同組合)をいただきました。鳥取短期大学で行われた贈呈式では、鳥取県生活協同組合代表理事の長谷川和史様より励ましのお言葉をいただき、両大学の学生を代表して鳥取短期大学2年明生風紗さんが、1年竹内菜津さんが「みなさんも大変な時にも関わらず学生に目を向け助けていただきありがとうございます。これからもがんばります。」とお礼の言葉を述べました。学生たちへの温かなご支援、本当にありがとうございます。



令和2年度「とっとりプラットフォーム5+α」共同FD・SD研修会を開催しました



令和2年9月24日(木)、今年度の「とっとりプラットフォーム5+α」共同FD・SD研修会を、昨年実施し好評だった「業務をめぐる多様なリスクと危機管理について～クレーム対応、個人情報管理、不祥事等～」の第2弾(講師:弁護士法人TNLAW鈴木・曾我法律事務所の曾我紀厚弁護士)として開催しました。ロールプレイングなども盛り込まれた実践的な内容で、参加者からは「今後の業務に役に立つ内容だった」等の感想をいただきました。また、今回は学外の方にはZoomでの視聴をお願いするなど、コロナ禍ならではの実施となりました。

高齢者向け生涯学習事業「三朝町健康づくり講座」を開催しました

令和2年10月14日(水)、「三朝町健康づくり講座」を開講し、25名の方々が来学されました。鳥取看護大学の交流ホールや附属図書館別館などを見学後、シグナスホール大講義室にて、松本典子鳥取短期大学学長による講演を行いました。講演では、本学の教育の特徴や「コロナと運動」と題して、自然免疫の活性化をはかるため、睡眠・栄養・保温が重要であること、これらの効果を高めるためには適度な運動が必要であることなどをお話しました。



参加者からは「環境のいい場所でゆったりと学べるのですばらしい」「コロナ対策を聞いたのでさっそく実行したい」「今後も機会があれば聴講したい」などの感想をいただきました。

使い捨てカイロの回収にぜひご協力をお願いします!



新型コロナウイルス感染症により、さまざまな活動が制限される中、自分達ができることをやろうと思ったことがきっかけとなり、Go Green Group株式会社が取り組む「使い捨てカイロを使用して、海、川、池などを浄化する活動」に、鳥取看護大学の学生有志が賛同して始めました!専用の回収ボックスを作成し、看護大学棟に設置していますので、使用後はぜひこのボックスに入れてください!

【回収ボックス設置場所】

看護大学棟 玄関ホールと5階エレベーター前の2箇所

【回収期間】2月1日～4月9日

子育て支援まちの保健室を「初!オンライン」で開催



令和2年12月22日(火)、子育て支援「まちの保健室」を開催しました。

例年は認定こども園鳥取短期大学附属こども園および倉吉市保健センターに出かけて実施していますが、今年度はコロナ禍で、お子さんを連れて外出することが難しい状況であるため、初の試みとしてオンラインで開催しました。この日はスタッフ4名で担当し、2組のお母さんとお子さんにご参加いただき、一緒にベビーマッサージを行った後、子育てで困っておられることなどについてお話を伺いました。お子さんの状況に合わせて授乳やオムツ交換ができるなどオンラインならではの良さもあり、今後も自宅で気軽に参加できるこのような方法でも開催し、交流の輪を広げていきたいと思っております。

異文化体験・国際交流



English Café を開催



令和2年10月28日(水)、今年度第2回目となる English Café を「ハロウィン」をテーマに開催し、クイズ大会とかぼちゃのランタン制作を行いました。

クイズ大会では、英語でハロウィンに関するクイズが出題され、学生は楽しみながらクイズに解答し、かぼちゃのランタン「Jack-o'-Lantern」作りでは、教員に作り方を教わり、固いかぼちゃに苦戦しながらも個性豊かな表情のランタンを制作しました。完成後はランタンにキャンドル

を入れ、教室を暗くし、ハロウィンの雰囲気を楽しみました。

コロナ禍であっても世界の季節を感じられるイベント等を今後も開催し、海外への理解を深めたいと思っております。

「台湾ランタンフェス in とりたん」を開催

令和2年11月20日(金)、「台湾ランタンフェス in とりたん」を開催し、学生および教職員約30人が参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年行っている台湾研修やニュージーランド研修が中止となるなか、異文化が体験できる機会を学生に提供するために国際交流委員会が企画しました。

はじめに、齊木恭子教授と野津伸治教授が台湾の概要や観光地、グルメなどを紹介した後、台湾ランタンの製作手順を説明しました。本場の台湾ランタンのように空へ飛ばしたいところですが、今回は、環境への影響や火災の危険性を考慮し、ランタンの四隅にタコ糸を結び付け、凧あげのように空中に浮かせて楽しむ方法をとりました。完成後のランタンに点灯すると参加者は歓声をあげながら、夜空に浮かび上がるランタンの幻想的な光景を楽しみました。



「国際交流ウィーク2020」を開催

鳥取看護大学の学生たちは、学術協定を結んでいる「サント・トーマス大学(UST)」と昨年、一昨年と、相互の大学を直接訪問する短期研修」を行い、交流を重ねています。しかし今年度は、全世界で新型コロナウイルスが蔓延し、すべての交流行事を断念せざるを得ませんでした。そんな中、USTの教員や学生たちから、お互いがんばろう!という内容のビデオメッセージが届きました。このメッセージは、学内の「国際交流ウィーク2020」の期間に合わせて上映し、多くの学生が視聴しました。

また、そのお返しに、思い思いのメッセージを書いた横断幕を作成し、USTのみなさんに送りました。コロナに負けずに一緒にがんばろうという学生たちの気持ちが海を越えて繋がる、新しい国際交流を感じた1週間でした。

「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」通訳ボランティア講座

令和2年12月21日(月)、「ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)」通訳ボランティア講座を開催しました。この講座は、2022年5月に鳥取県を含む関西一円で開催予定の世界最大級の一般参加型・総合スポーツ大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けて、海外から来県される方の対応等を行うために、語学力、思いやりの心、コミュニケーション能力などを養うことを目的に、WMG鳥取県実行委員会が中心となり開講しています。

今回の講座では、講師のシェリー・メガリー先生が、英語でのコミュニケーションのコツや選手へのおもてなしの気持ちの表し方を説明され、参加した学生たちは熱心に講義を聴きながら、大会やボランティアへの理解を深めました。

